

技術委員会・SD小委員会情報

CALLERLAB ベーシック、動作の定義改定

このたび CALLERLAB より、「ベーシック ダンス プログラム動作の定義」書き換え作業の結果の一部が発表されましたのでご案内します。(2018年10月27日付け改定発表)

CALLERLAB では、定義の書き換え作業を、動作表記の分かりやすさ、標準化に努め行っており、各動作の記述を、1.動作名、2.動作を始める隊形、3.コール例、4.動作、5.動作を終わる隊形、6.タイミング、7.スタイリング、8.注釈の8つの形に整理し、2008年から順次発表しています。

今回の発表は、「ベーシックダンスプログラム動作の定義」の
48.Sweep a Quarter (スウィープ ア クォーター) です。

変更点は、次の通りです。

■変更点

動作が次のように書き換えられました。

旧：円形に移動する動作を1/4(90度)引き続き行う。

新：Circle Right(サークル ライト)またはLeft(レフト)を1/4(#1,b)回転行うが向かい合ったカプルとは手を取り合わない。回転の方向は直前の動作を終えた時の向きを継続する。

その他、注釈部分に多くのコメントが記載されました。

記載されたコメント例

- 直前の動作が終わった時に、向かい合ったカプルの中心の周囲を動く各々のダンサーの動きは同じでなければならない(どちらも時計回り、または反時計回りのいずれか一方)。
- Chain Down the Line、Bend the Line、Wheel Around、Cast Off 3/4などの後に Sweep a Quarter を使うのは不適切、ウェイブからの Recycle の後は例外として妥当とする。

その他、全体の表記上の僅かな修正がありました。

今回の変更に伴い、日本語版の「ベーシック ダンス プログラム動作の定義」分割第5版を発行致します。

詳しくは、S協ニュースやS協ホームページ、またはCALLERLAB ホームページに掲載してまいりますのでご確認ください。

S協ホームページ：スクエアダンストピックス欄

URL：http://squaredance.or.jp/sd_topic.html

CALLERLAB ホームページ : Dance Program Documents 欄

URL : <http://www.callerlab.org/Dance-Programs>

以上

<技術委員会・SD小委員会>